

(様式)

平成31年度 学習指導方針（スクールポリシー）

石川県立志賀高等学校

【本校において目指す生徒像】

- ①多様な人々と円滑に協働する力を身に付けている生徒
- ②自ら掲げた目標の達成や課題の解決に向けて、粘り強く取り組むことができる生徒
- ③主体的に学習に取り組み、生涯にわたって学び続けようとする態度を身に付けている生徒

【学習指導方針（スクールポリシー）】

- (1) 生徒主体の協働的学習を取り入れ、地域の人材も活用するなどして、コミュニケーション能力の向上を図る。

ICT等を活用しながら、生徒主体の協働的学習（アクティブ・ラーニング）の手法を積極的に取り入れることで、相互理解を深め、自己の在り方を見つめさせ、協働の大切さを実感させる。また、地域の人材を活用した学習活動や授業の中で自分の考えを述べたり他人の意見をしっかりと聴いて質問したりする活動を取り入れることで、思考力や表現力等の向上を図るとともに、コミュニケーション能力の向上を図る。

- (2) 目的意識を高めて、応用的な課題に粘り強く取り組む姿勢を育て、学力の向上を図る。

地域と連携した教育活動を生かして、学ぶことの楽しさや働くことの意義を実感させ、生徒一人一人の目標を明確にさせる。多様な生徒に対応するため学び直しを含めて基礎学力の定着を図ったり、目標に応じた課題に取り組ませたりしながら学習意欲の向上を図り、応用的な課題にも取り組ませ、解決のために粘り強く取り組むなかで学力の向上を図る。

- (3) 学習状況の点検を通して学力の向上を図り、生涯にわたって学び続けようとする意欲を育む。

授業の流れやねらいを明確に示し見通しを持って授業に取り組めるようにするとともに、振り返りにより自己の学習状況を点検できるようにする。また、既習事項を活用する場面や事象の根拠を明らかにする場面、物事を多様な観点から考察する場面を設定することで学ぶことの楽しさや達成感を味わわせ、生涯にわたって学習しようとする意欲を醸成する。